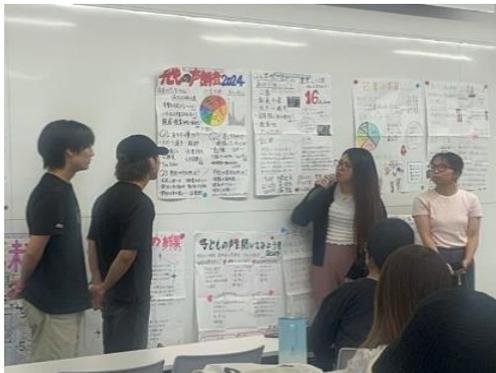


こども・若者等の意見反映状況について



沖縄県こども未来部
令和6年11月

1 意見表明の取組実施状況

【実施期間：令和6年5月～9月】

対象（学年・年齢等）		施設数	アンケート回答数	
①大学生を主体とした参画・意見表明のモデル事業				
モデル事業に参画した大学生	3～4年次	2大学	51	
モデル事業に参画の大学生によるフィールドワークで意見表明を行ったこども・若者	幼稚園～大学生	—	436	
小 計			487 人	
②ライフステージ毎の意見表明				
幼稚園児	幼児教育施設	4～5歳児	1校	17
小学生	県内公立小学校	5, 6年生 ※小規模離島の小学校1校のみ 全学年参加	7校	375
中学生	県内公立・私立中学校	1～3年生	8校	697
高校生	高校生代表者会議 (公立高校)	1～3年生	59校	176
	県内私立高校		2校	
	県内通信制高校		2校	
小 計			1265 人	

対象（学年・年齢等）		施設数	アンケート回答数	
③県民向けWEBアンケートによる意見表明				
若者	18歳以上29歳以下の若者	—	726	
保護者	0から17歳までの子を持つ保護者	—	3,978	
※上記の「若者」と「保護者」の区分別に集計されていない21件も含む。			小 計	4,725 人
④配慮が必要なこども・若者の意見表明				
県内支援団体、施設(11カ所)で支援を受けているこども・若者		12～39歳	11施設・支援団体	64
合 計			6,541 人	



2 こども・若者等からの意見への対応（沖縄県こども計画（仮称）への反映状況） 【主な項目】

経済的支援（奨学金など）

※（配慮）：配慮が必要なこども・若者の意見表明であげられた声

みなさんからの意見

- 進学のための奨学金（小学生）
- 高等学校の授業料無償化（中学生）
- 県内進学のための奨学金。県外に進学したときの、費用の援助（高校生）
- 私立学校の教育費の負担、入学金の負担（小学生）
- 給付型奨学金があることを中学生の頃から周知して、進路を諦めないようにしてほしい（保護者）

- 金銭問題がなければ本当にかんがわれます。お金がないから（中学生）
- 進学先は車やバイク通学が厳しいので、交通費の支援があったら嬉しい（高校生）

- バス・モノレール・タクシーなどを高校生まで無料か半額（小学生）
- フリースクールを利用するこども達にも経済的支援があれば助かる（保護者）
- 奨学金がだれでも受けれるようにしてほしい（中学生）
- 給付型の奨学金が普通世帯にもあったらうれしい（高校生）
- 給付型でも貸与型でも給付金をもっと手軽に必要な人が利用できるようになってほしい（若者）
- 教材費の補助（教科書をタブレット端末にスキャンするために同じ教科書を買って、切り離して利用する必要がある）（配慮）
- 居場所までの送迎支援（配慮）

書いてあるところ

◆ 第3章 2-(3) 青年期

ア-① 高等教育段階の就学支援の着実な実施

- 奨学金貸与事業の着実な実施・制度の周知
- 経済的な理由で県外難関大学等への進学が困難な県内高校生に奨学金を給付
- 県外大学等に進学を希望する低所得者世帯の高校生への渡航費用の支援
- 私立専修学校に通う低所得世帯の学生の授業料と入学金の減免

◆ 第3章 4-(1) こどもの貧困対策

ア-②-(ウ) 高校生期

- 所得に応じて高等学校等の授業料に充てる就学支援金の支給
- 高校生等奨学給付金（奨学のための給付金）制度による家庭の教育費負担の軽減
- 高等学校等中途退学者の学び直しに係る一定期間の授業料支援
- 高校生等の通学費に係るバス運賃等の負担軽減

ご意見に近い現在の施策、取組

- 通学費に係るバス・モノレール通学費等支援事業は対象を順次拡大しながら支援（R4年度フリースクールに通学する学生にも対象拡大）
- 奨学金等については、所得に応じて家庭の教育費負担の軽減
- 特別支援学校（特別支援学級含む）に就学する生徒の教育費に対する特別支援教育就学奨励費による負担軽減
- 拠点型居場所等によるこども達の送迎対応